

南丹市障がい者支援ネットワーク会議（報告）

関連資料・実施について

- ※フロー図確認（資料①-2）
- ※体制図・参加機関一覧（資料①-3）
- ※基本的に旧町単位で2か月に1回実施。

【内 容】

《H30 年度》

「利用されている人・関わっている人の生活全体を捉える」「事業所間のつながり」

- ・旧町4町単位で行っているので、内容を共有する。
- ・年1回全体会を実施。

「地域からみた事業所」 … 他の事業所から自分の事業所を見る機会。存在意義や役割。＝ 地域からみた事業所へつなげる。

《H31 年度》

「顔の見えるネットワーク作りや人材育成の場」

- ・現場の職員にも参加してもらえる場へ ⇒ 目的をしっかりと持ち、事業所へ持ち帰ってもらい反映してもらえるか。
- ・全体会「地域貢献」 … ①今行っていること②地域が望んでおられること・地域に必要だと思うこと③すぐにできそうなこと

《R2 年度》

- ・コロナ禍 … メールで対応や工夫などを共有。ネットワークによつての助け合いもあった。
- ・防災についてのミニ講座 … 参加メンバー（消防団活動の経験も踏まえて）に講義。
⇒ 本人の防災意識の把握、地域のルールや特徴を知る、個別対応の必要性。
- ・全体会「意思決定支援」 … 意思決定支援・地域視点などをやっていくために、1支援者・1事業所ではできない。

《R3 年度》

- ・連携について … それぞれの事業所で連携について意識していること、大切にしていること
- ・全体会「続・意思決定支援」 … 意思決定支援の振り返り（なぜそれをするのか、してどうするのか）

【相談支援事業所会議・ネットワーク会議での共通の課題】

- 地域と交流している事業所もある。＝ 人材不足、若い力、イベントなど。
- まだまだ地域との距離が遠い、どこからどのように地域と繋がっていけばいいか難しい。

自立支援協議会の場をお借りして

・民生委員さんが思っておられること、地域の課題 ⇔ 障害福祉について知ってほしい、協力してほしいこと、なにか役に立つこともあるのでは。

⇒ 地域で生活している方（個人）が、生活しやすい地域づくりへ

⇒ 地域とともに支援ネットワークをつくれるように